

(返済不要・給付型奨学金のご案内)

ビヨンドトゥモロー ジャパン未来スカラースhip・プログラム 2017 【応募要項】

一般財団法人教育支援グローバル基金は、新たに高校を卒業し、社会のために活躍する人材になるべく進学を目指す若者を応援する「ジャパン未来スカラースhip・プログラム 2017」への応募を募ります。本プログラムは、財政的な支援だけでなく、日本全国から集う様々な想いを持つ学生たちが、それまでの日常の中では得られなかった体験を得ることにより、他者に共感する力をはぐくむ機会を提供することを目的としています。

自らの手で社会をより良い場にしたいという志を持つ人材候補を日本全国から選抜し、年間を通じて開催される国内外での人材育成プログラムへの参加の機会を提供します。プログラムに参加する仲間との対話や、各界で活躍するリーダーたちとの交流の場を通じ、視野を大きく広げ、共感する力を育て、それぞれの形で社会に力を添える人材の輩出を狙う本プログラムに、ぜひ奮ってご応募ください。

特に、下記に該当する方は、優先的に配慮します。

- ・保護者と死別・離別の経験がある。
- ・単親家庭に暮らしている。
- ・児童養護施設に暮らしている。
- ・経済的に極めて厳しい環境にある。

※選考の過程、及び、プログラム合格後に、上記状況について詳しく確認させていただくことがあります。申告に悪質な虚偽があると認められる場合には、プログラムから除外となる他、既に支給した奨学金の返金を求めることがあります。

【主催】

一般財団法人 教育支援グローバル基金

【プログラムの内容】

1. 奨学金支給 年間 72 万円の返済不要・給付型奨学金を提供します。
2. 人材育成プログラム 国内外で開催されるプログラムを通じ、各界で活躍するリーダーとの対話や、様々な困難を経験しながらも社会のために働くことを志す仲間との対話、社会課題について考える機会の提供を行います。

これまでの人材育成プログラムの例

スプリングプログラム (毎年 3 月開催 3 泊 4 日・東京)

夏季グローバル研修 米国プログラム (毎年 8 月開催 2 週間・ボストン、ニューヨーク、ワシントンDC)

夏季グローバル研修 アジアプログラム (毎年 8 月開催、9 日間・フィリピン、韓国など)

ジャパン未来リーダーズサミット (毎年 10 月開催 2 泊 3 日・東京)

※各種人材育成プログラムの詳細は当財団のウェブサイトでご覧いただけます。

※原則として、プログラム参加に係る費用は主催者が負担します (遠方からの参加者は交通費を財団規程に基づいて支給)。

ビヨンドトゥモロー ジャパン未来スカラースhip・プログラムは、奨学金支給と人材育成プログラムの両方から成る、1 年間の包括的なプログラムです。

【応募資格】

下記条件を満たすこと。

- ① 2017 年 4 月～2018 年 3 月に新たに大学・短大・各種専修学校に進学予定の者 (海外留学も対象となりますが、留学先が語学学校の場合は対象外となります。)
- ② 年間を通じて開催される各種プログラムに参加する意志があること。
- ③ 2017 年 3 月 19 日～22 日に開催するビヨンドトゥモロー スプリングプログラムへの参加を確約できること。

【応募の流れ】 選考は、以下のスケジュールで行います。

| | |
|-----------|---|
| 11月30日(水) | 応募締切(当日消印有効) |
| 12月9日(金) | 一次選考合格者への面接案内送付(合格者及び合格者の推薦状を記入した学校長宛てに通知します。不合格者には通知をいたしません) |
| 12月下旬 | 二次選考 12月23日(金・祝) 東京会場 12月24日(土) 大阪会場 12月25日(日) 福岡会場 <u>※遠方からの受験者には面接会場までの交通費を規程に基づき支給します。</u> |
| 1月下旬 | 最終合格者発表(二次選考を受験者全員に可否を通知します)。 |

※本プログラムの合格者は、2017年3月19日(日)～22日(水)に開催される3泊4日のスプリングプログラムへの参加が義務づけられています。

【選考方法】

- 1次選考：書類審査
- 2次選考：面接(遠方からの受験者には、交通費を規程に基づき支給します。詳細は、1次選考合格者に通知します)

【選考会場の振り分け】

| 会場 | 対象者 |
|------|--|
| 東京会場 | 北海道・青森・秋田・岩手・宮城・福島・山形・栃木・群馬・茨城・山梨・長野・新潟・埼玉・千葉・東京・神奈川・静岡の各都道府県居住者 |
| 大阪会場 | 岐阜・愛知・三重・富山・石川・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知の各都道府県居住者 |
| 福岡会場 | 福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄の各都道府県居住者 |

【応募方法】

下記の書類の全てを、締切までに提出すること。応募書類は返却いたしません。1次選考の結果についての個別のお問い合わせは理由の如何を問わず受け付けません。

- ① 応募用紙(指定応募用紙に必要事項を記入のこと)
- ② 課題作文(応募用紙の指定の通りに課題作文を作成し同封すること)
- ③ 学校長からの推薦状(学校長により厳封のこと)

【締切】2016年11月30日(水) 当日消印有効

【送付先】応募書類の送付先は、以下の通りです。(切り取って郵送先のラベルとして使用してください)

※郵便局留のため、宅急便では受取ができません。必ず郵便でお送りください。

※応募期間中のみ開設している受付窓口です。受付期間を過ぎた郵送物は10日後に返送されます。

※遅配・不達等の郵便事故の責任は負いかねますのでご了承ください。

※当財団事務所住所に送付された場合も、受理することができませんのでご了承下さい。

キリトリ

〒150-8681 東京都渋谷区渋谷1-12-13
渋谷郵便局留

一般財団法人教育支援グローバル基金
「ジャパン未来スカラシップ・プログラム2017係」 行
(渋谷区神南1-5-7 APPLE OHMI ビル4F ETIC. 内)

局留め郵便のため、宅急便での送付はできません。

例年、間違った住所への送付、締切後の到着、応募用紙の必要事項の記入漏れなどの理由により、受理できない事例が多数発生しています。必ず提出方法を確認の上、正しい方法で期日までに提出してください。受理されたかどうかの確認、受理できなかった理由についてのお問い合わせは一切受け付けておりません。

【一般財団法人 教育支援グローバル基金およびビヨンドトゥモローについて】

一般財団法人教育支援グローバル基金は、東日本大震災を機に設立された財団法人です。「ビヨンドトゥモロー」は、共感力ある次世代のグローバル・シティズン（地球市民）の輩出をめざす人材育成事業として、奨学金支給および人材育成プログラムの運営を行っています。東日本大震災直後から、「逆境は優れたリーダーを創る」を理念に、次世代を担う若者たちが集い、深い思考と真摯な内省を基軸に、他者との対話を試みるというアプローチを通じ、より広い視点、深い共感力をもって社会のことを考えることのできる人材輩出にむけて様々な活動を行ってきました。設立以来、東北地方の高校生・大学生を対象に活動を展開してきましたが、2015年秋より、対象領域を全国に展開しています。 ウェブサイト：<http://www.beyond-tomorrow.org/>

【問い合わせ先】

電子メール：info@beyond-tomorrow.org
ファックス：03-6745-9100

よくあるご質問（FAQ）

Q 奨学金の支給は1年間のみなのですか。

A 本プログラムは、1年間のプログラムです。2018年度のプログラム内容や応募方法については、2017年秋頃に発表となる予定です。これまでに、多くの学生が、複数年度にわたって奨学金を受けて学んだ例があります。

Q 5年制の高専に在籍しているのですが、受験できますか。

A 5年制の高専の場合、来年4月時点で4年生になる方にご応募いただけます。

Q 大学を休学する予定があるのですが、奨学金はもらえますか。

A 休学する予定があっても応募することは可能ですが、休学している期間は、奨学金支給の対象となりません。休学期間中に人材育成プログラムに参加することは可能です。

Q 面接会場・時間を変更できますか。

A 面接会場・時間は主催者が決定します。変更の希望は一切受け付けていません。

Q 面接会場までの交通は自分で手配するのですか。

A 面接会場までの交通については、一次選考合格者に個別にご連絡します。

Q 浪人生ですが、応募できますか。

A 応募できます。その場合、学校長からの推薦状は、出身高校の学校長に依頼してください。それが難しい場合は、高等学校からの卒業証明書をご提出ください。

Q 応募に際して、年齢制限はありますか。

A ありません。

ビヨンドトゥモローの学生たち

様々なバックグラウンドを持つ学生たちが日本全国から集い、自分の役割を探し続けています。



“自分に何ができるのだろうか、自分の存在意義を必死に考えた”

- 遠藤 真之 東京大学工学部

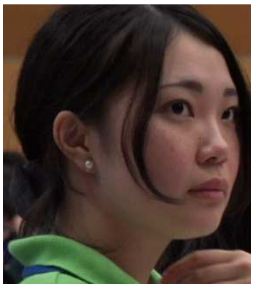
ビヨンドトゥモローに参加し、同年代の仲間たちが、家族、友人、家、住み慣れた町など、様々なものを失いながらも力強く生きる姿に頭を殴られたような衝撃を受けた。自分に何の貢献ができるのだろうか、自分の存在意義を必死に考え、自分だからこそできるサポート役を務めていきたいと考えた。将来の夢は、IT技術を活用し、地域格差の解消に貢献すること。



“愛媛県で農業を営む島に育ち、なぜ島は豊かにならないのだろうと考えた中で、経済学を学びたいと思うようになりました”

- 大山 貴史 山口大学経済学部

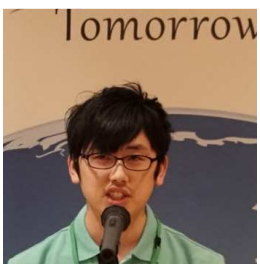
愛媛県の離島のみかん農家に生まれた。小学生の時に父が自殺して以来、日本語が不自由な母を支え、新聞配達をしながら勉強と部活を両立させてきた。将来は、食品に関する仕事で、地元のみかんやハマチなどの特産物を活用し、地域活性化に貢献することが夢。島という限られた空間に暮らし、世界を見渡すことができないと感じたことから、高校生の時にビヨンドトゥモローに参加し、仲間と出会い、人生の転換点になった。



“ビヨンドトゥモローの奨学金に出会い、大学に行く道筋が見えた”

- 小岩 真純 福島大学現代教養コース

経済的に厳しい家庭の状況で、進学への不安を感じる中、母の祖国であるフィリピンを訪問。車の間を細い脚で商売をする子供たちの姿を目の当たりにし、自分自身を奮い立たせることができた。帰国後、高校を退学し、通信制高校への転学を決意。毎日アルバイトして大学進学費用を貯め、夜間制の大学に進学。将来は青年海外協力隊など国際協力活動に参加し、フィリピンで見たような子供たちが労働だけでなく教育という選択肢を得られるように活動したい。



“私にとってビヨンドトゥモローは、家族のような場所です。何でも話せて、一人じゃないと思えて、ただいまといえる場所です。ビヨンドトゥモローとの出会いがなかったならば、私は死んでいたのかもしれない”

- 佐藤 迅 東京法律専門学校仙台校

東日本大震災で母を亡くし、自宅も流失。母の死は自分のせいだと自分自身を責め、生きる意味を見失ったこともあった。しかし、高校生でビヨンドトゥモローの活動に参加し、初めて被災体験を話したのをきっかけに「自分にも何かできるのではないか」と思えるようになった。そして、苦しい時、辛い時に支えあい共に前に進んでくれる仲間と出会うことができたことに幸せを感じている。



“ビヨンドトゥモローで、自分と向き合ってくれる仲間に出会った”

- 藤井 理子 早稲田大学政治経済学部

大学進学後、島根県津和野町で地域おこし協力隊として活動。町営英語塾 HAN-KOH の魅力化スタッフとして、教育の地方格差を無くすために活動する傍ら、高校生の町長への政策提言プログラムを作るなど、高校生が政治に関わるきっかけづくりに携わってきた。将来は県議会議員となり、弱い立場にある県民の声を反映させた政治を行うという夢にむかって、大学では地域活性を中心に、政治学を学んでいる。